

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 平成26年度(2015年)3月卒業希望の方へ

1 3月卒業対象者について

12月までの卒業試験受験者などで来年3月卒業予定者として登録されている方には、11/13～28までの間に履修状況票をお送りいたしました。卒業要件単位をご確認ください。また、3月卒業希望者で届いていない方は、卒業係までお申し出ください。

1月の卒業試験受験者は、1/10ぐらいまでに履修状況票をお送りさせていただきます。

卒業までのスケジュール・諸注意は、『With』103号 p. 70～73および『学習の手引き』5章でご確認ください(卒業予定者必読)。

今年は現時点で280名ほどが来年3月卒業予定者として登録されています。皆様があきらめることなくご努力を続けられ、卒業まで漕ぎ着けますことを願っております。

2 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連の演習・実習のメールによるお問合せは、uj@tfu-mail.tfu.ac.jp までお願いいたします。

1 発送物のご案内

「★■演習A」「◆演習I」スクーリング受講許可通知

1月(仙台)開催分

12月16日発送予定

「★■演習C」スクーリング受講許可通知（2月7・8日開催分）

12月26日発送予定

「★■演習B」「◆演習II」スクーリング結果通知

10月開催分 10月31日までに発送済

11月開催分 11月30日発送予定

「★■実習指導B・実習」「◆実習指導（事後）・現場実習」結果通知

11/15までのスクーリング受講者 12月10日発送予定

11/22スクーリング受講者 12月24日発送予定

「★■実習指導A」スクーリング受講許可通知

10月31日実習申込受理判定合格者 11月11日発送済

2 次年度実習の申込みについて

平成27年6/22～10/16の期間（平成20年度以前入学◆旧カリキュラム受講者は～12/25）に実施の実習申込みは9/15で終了しております。

申込された方の今後の受理判定日および「実習申込受理通知」の発送予定日は下表のとおりで、受理された方には下記①～③を送付します。

判定日	実習申込受理通知 発送予定日
11/30	12/14
12/20	1/10
1/31	2/14

①『社会福祉援助技術実習 課題ノート』

②『社会福祉援助技術実習の手引き 第2分冊』

③実習指導Aスクーリング受講許可証ハガキ（◆旧カリキュラム受講者には、「実習指導（事前）スクーリング申込カード」を来年3月に送付。）

※実習先からの「内諾回答書」（写し）は、実習の申込が受理された方で、

実習先から通信教育部に返送があった場合にお送りします。上記①②に同封する場合がありますが、多くは別便での送付となります。

3 『★■社会福祉援助技術実習指導A』 スクーリングの申込みについて

スクーリング申込みは実習申込と併せて9/15で締め切りました。

今年度の本スクーリングの受講料（5,000円）は、「★■社会福祉援助技術実習指導B」スクーリング受講料（15,000円）とあわせて来年度4月に請求（計20,000円）いたします。

※【旧カリキュラム受講の方へ】実習指導内容の変更について

平成27年度以降の実習から、旧カリキュラム受講の方も新カリキュラム受講者と同様の事前事後指導が求められ、レポート課題、スクーリング受講回数も増え、スクーリング受講料もアップします。また、実習中の指導についても巡回指導1回に加えて帰校指導3回が必要となります。

詳細は該当者に連絡します。

4 『レポート課題集（社会福祉編）2014』 p.148 訂正について

（訂正前）

課題 2

『社会福祉援助技術実習 課題ノート』（鉛筆書き）のp. 7～14を完成させてください。

（省略）

※スクーリング受講日（提出締切日）までに、実習先が決定していない場合は、p. 8およびp. 14は記載可能な箇所のみで構いません。

（訂正後）

課題 2

『社会福祉援助技術実習 課題ノート』（鉛筆書き）の p. 8～17 を完成させてください。

（省略）

※スクーリング受講日（提出締切日）までに、実習先が決定していない場合は、p. 9 および p. 17 は記載可能な箇所のみで構いません。

5 「★■社会福祉援助技術演習C」について （対象：実習免除者、再来年度以降科目等履修生での実習希望者）

来年2/7・8開講のスクーリング申込締切日は、12/20になります。
お申込みは、『With』97号巻末の申込用紙をご使用ください。

6 社会福祉士国家試験 受験資格取得を目指す方へ 【重要】

社会福祉士・指定専門科目の履修状況は、各自で管理する必要があります。履修状況票のweb閲覧または取り寄せにてご確認ください。

スクーリング受講や科目修了試験受験、レポート提出などに漏れがないか、特に再提出になったレポート、不合格になったスクーリングや科目修了試験についてはその後どうしたか、などにはご留意ください。

ご自身で確認したうえで、ご不明な点などは社会福祉士の演習・実習係にお問い合わせください。

3 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールアドレス：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

1 発送物のご案内

◆★「精神保健福祉援助演習」スクーリング成績通知 11/15・16受講者
11月中に発送済み

◆★「精神保健福祉援助実習」受講申込受理判定結果通知 第2回（11月
末）受講申込受理判定の合格者 12/3に発送済み

■「精保演習A」受講許可通知 12・1月受講予定者 12/3発送済み

■「精保実習B事後指導（精保演習C-2+実習指導B-2+帰校指導）」
スクーリング成績通知 11/29・30受講者 12/26発送予定

■「精保演習B（実習免除者用）」受講許可通知・「精保実習B課題ノート」
1月受講予定者 12/3発送済み

【H23年度以前入学者・旧カリキュラム】

2 「◆★精保演習」を受講した方へ

11/15・16に「◆★精保演習」を受講した方の2単位めレポートは12/20が提出締切です。「体験学習」は、原則1/20までに終えて体験学習記録を提出してください。次年度に実習受講を希望しない方も、賠償責任の保障期間の都合上、遅くとも3月末までに「体験学習」を終えるようにしてください。

「体験学習」は本実習の前の事前実習としての目的のほか、実習生の立場や実習受入先が実習生を受入れることの意味を理解することをねらいとしています。そのため学習依頼先の選定から、内諾依頼調整、内諾報告、体験活動、記録作成、体験学習先への礼状送付までを一連のプログラムとして学生自身が行うことに意義があります。極力自身の力で調整・実施するようにご努力ください。

3 「◆★精保実習」(H27. 7 / 1 ~ 12 / 25) 申込について

次年度の期間の「◆★精保実習」(7 / 1 ~ 12 / 25) の第2回判定(11 / 30) の結果を12 / 3 に通知しました。残りは12 / 20, 1月末(最終)の2回となります。受理条件のクリアに向けご努力ください(『レポート課題集2014(社会福祉編)』p. 271~278参照)。入学年度により『学習の手引き』2002-2008◆版 p. 83~, 2009-2011★版 p. 98~の「V 精神保健福祉士国家試験受験資格」もご確認ください。

【H24年度以降入学者・新カリキュラム】

(実習受講者)

4 「■精保演習A」(12・1月開講) 受講希望の方へ

今年度12 / 13・14またはH27. 1 / 24・25に「■精保演習A」の受講予定の方へは受講クラス結果通知を12 / 3 に発送済みです。初日または2日目の演習講義の後のいずれかに実習受講希望者を対象に「精保実習A選考試験(面接)」を実施します。ご自身の面接時間を確認し、帰りの交通チケットの時間にご注意ください。

5 今年度「■精保実習A」(10/1～2/15)を受講している方へ

巡回指導は実習中に原則1回実施されます。実習期間の中間を過ぎても実習先の指導者に担当教員から巡回指導の日程調整の連絡が来ない場合、通知済みの連絡方法にて速やかに担当教員に連絡を取り、本学実習係にもご連絡ください。なお、巡回指導の日程調整は、担当教員と実習先指導者とで直接行われ、実習生が間に入ることはありません。

6 次年度「■精保実習A」(H27.10/1～2/15)を受講希望の方へ

次年度「■精保実習A」(H27.10/1～2/15)の受講申込みは11/30で締切りました。これから順次実習受入依頼調整を行います。依頼調整に際して実習時期や実習先等について確認することがありますので、本学通信教育部(022-233-2211)からの着信にご注意ください。

なお、実習を受講するためには「■精保演習A」受講時に実施される「■精保実習A選考試験(面接)」の合格および6月末【条件2】、8月末【条件3】、9月末【条件4】と順次クリアして行く必要があります(『学習の手引き2014』p.131～133、『レポート課題集2014(社会福祉編)』p.233～234参照)。

7 今年度「■精保実習B」(7/1～12/25)を受講希望している方へ

11/29・30の精保実習B事後指導(精保演習C-2+実習指導B-2+帰校指導)のスクーリング成績通知は12/26に発送予定です。

8 次年度「■精保実習B」(H27. 7 / 1 ~12/25)を受講希望の方へ

「■精保実習B」(H27. 7 / 1 ~12/25) の実習依頼調整を順次行います。依頼調整に際して実習時期や実習先等について確認することがありますので、本学通信教育部(022-233-2211)からの着信にご注意ください。

なお、実習を受講するためには「■精保実習A事後指導(精保演習B-2+実習指導A-2+帰校指導)」受講時(H27. 1 / 24・25またはH27. 3 / 7・8)に実施される「■精保実習B選考試験(面接)」の合格および3月末【条件5】、4月末【条件6】、5月末【条件7】を順次クリアして行く必要があります(『学習の手引き2014』p. 131~133, 『レポート課題集2014(社会福祉編)』p. 233~234参照)。

【H24年度以降入学者・新カリキュラム】

(実習免除者)

9 「■精保演習B(実習免除者用)」(H27. 1 / 24・25)を受講希望の方へ

「■精保演習B(実習免除者用)」スクーリング受講申込みは11/30で締め切りました。申込受理条件である【条件8】を達成した方に12/3に受講許可通知と『精保実習B課題ノート』を発送済みです。

【旧・新カリキュラム共通】

10 今年度「精神保健福祉士国家試験」を受験される方へ

国家試験まで残り2カ月を切りました。「受験勉強が手につかない」「何から取り組んだら良いか分からない」等でお悩みの方は、お気軽に本学精保実習係宛ご相談ください。

電話022-233-2211・FAX022-233-2212・E-mail : psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

4 教職免許状 取得希望の方へ

1 実習受講条件について

各実習を必要とする方は、下記の受講条件を『レポート課題集2014（心理・教職編）』で確認いただき、締切に合わせた学習をおこなってください。実習受講者は、すでに繰り返しご案内しておりますように、平成29年度までの事前指導スクーリング受講、実習受講をお願いいたします。

●高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者

「介護実習事前指導」スクーリング受講条件（＝次回締切12/10）

「介護実習」内諾のための依頼状発行条件

「教育実習事前指導」スクーリング受講条件（＝次回締切2/26）

「教育実習」実習校への内諾のための依頼状発行条件

●特別支援学校教諭一種免許状

「障害者教育実習事前指導」スクーリング受講条件（＝次回締切2/26）

「障害者教育実習」実習校への内諾のための依頼状発行条件

また、各実習は、卒業後教員として就職する意思が明確で、実習校の正常な教育活動を妨げるおそれのない方のみが受講できます。実習校には、実習生を受け入れる義務はありませんので、謙虚な気持ちで実習や実習依頼にのぞむようお願いいたします。

2 障害者教育実習・事前指導スクーリングの受講免除について

該当する方は、『レポート課題集2014（心理・教職編）』p. 257～258を読み、手続きを12/15必着でおこなってください。

3 **すでに基礎となる教職免許状を所持しており 特別支援学校教諭免許状を申請する方へ**

●教育委員会への個人申請方法と時期

必要な単位修得を終えた方は、必要な書類や申請の方法について、各自で都道府県教育委員会にお問い合わせください。都道府県によっては、免許状の申請時に在籍の有無が問われることがございます。在籍中に申請する必要はあるか否かについてもご確認ください。また、4月からの採用が決まっているなど特別な理由がない場合、12～3月中は個人による免許申請を受け付けないと言われることがありますので、併せてご確認ください。

4 **教職科目「カウンセリング」履修者へのお知らせ**

高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者で科目コード050708「カウンセリング」を履修登録しておりスクーリングの受講を希望する方は、来年2/7・8「特講・福祉心理学4（スクール・カウンセリング）」（仙台 p.36）を受講すれば、「カウンセリング」のスクーリング受講とすることもできます（レポートの提出は必要ですが科目修了試験は免除されます）。希望者は12/18までに書面（様式任意：メール・FAX・郵送）でお知らせください。

5 **すでにいずれかの高校教職免許状所持者で 福祉科免許を取得希望の方へ**

現在、いずれかの高等学校教職免許状をお持ちの方で、福祉科免許を「6条別表4（教育職員検定）」および旧カリキュラム（平成22年度以前）で取得予定の正科生・科目等履修生の方へ、重要なお知らせを文書で送付いたしました。

上記下線部に該当する方で文書が届いていないという方は、至急教職免

許係までご連絡ください。

5 幼保特例講座受講の方へ

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

10/16～11/13の間に履修登録した方にお送りいたしました、幼保特例科目の専用レポート用紙について、下記の誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

すでにレポートを提出済みの方については、問題不備ということで採点対象外とさせていただきます（全員正解となっています）。

レポート未提出の方で、これからレポートを郵送で提出される場合は、下記のように課題を修正していただいた上でご解答くださいますようお願いいたします。

12/12以降到着のレポートより、下記の問題についても通常通りの採点となりますのでご注意ください。

科目名「初等教育課程の意義と編成」

p. 4 1単位め 問4 3) 問題文章について、以下のように訂正いたします。

・・・，人間の子の分子は行きたいという方向で動く，・・・

↓

・・・，人間の子の分子は生きたいという方向で動く，・・・

●保育士資格取得希望の方へ

「相談支援」のオンデマンド・スクーリングの申込締切が12/15となっております。受講を希望される方は、『With』103号5部にもとづいてお申込みください（本科目はスクーリング任意受講科目です）。

なお、10月生の方は「相談支援」について、平成27年8/8・9(土・日)の会場スクーリングも受講可能です。

※来年度の「乳児保育」スクーリングは8/10・11(月・火)、または12月の土日(日程未定)で開講予定です。今年度未受講の方はご予約ください。

●4月生の方へ

重々ご承知とは存じますが、今年度の会場で受験する科目修了試験は、12/19締切の第7回科目修了試験(1/10~12実施)、および2/10締切の第8回科目修了試験(2/28・3/1実施)しかありません(一部の幼稚園教諭免許状取得科目はweb試験も受験可)。レポートの提出はお早めをお願いいたします。

なお、第8回の科目修了試験までに合格できなかった科目について、平成27年度も継続して学習することは可能ですが、あらためて継続する科目の単位数×6,000円の授業料が必要となりますのでご注意ください。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

●特講・社会福祉学15(認知症介護論)

- ・認知症の方への対応について、大いに学ぶことができました。行動をおさえる、納得させる、言葉でごまかす、こちらのスケジュールを押し付けるなど今までのしてきたことは全てその人らしさを失わせていたのだと思います。今後の対応の変換をしていきます。現場にももっと理解を進めさせたいと思います。
- ・BPSD(認知症の行動・心理症状)を改善していこうとする認知症の人の関わりでなく、その人らしさや思いを大切にするパーソンセンタードケアの素晴らしさを学ぶことができたと感じました。そして、パーソンセンタードケアを実践していくことでBPSDも改善していくことにも驚きました。
- ・高齢者や認知症、障害の有無に関わらず、ケアをする、ケアを受けるということに境界はないのだと改めて思いました。これからの仕事に生かせるようにさらに学んでいきたいと思いました。

●人間関係論

- ・興味深く聞くことができました。以前の勤務先で、自己評価の低い対象者に対し、どのように接していくか職員間で悩んだことがあり、自尊心を高めていく具体的な方法を模索したことを思い出します。今回学んだ下方螺旋モデルを知っていれば、もっと効果的な対応ができたかもしれないと感じました。
- ・人間関係を維持・崩壊するモデルや、人は類似性の高い人と関係を成立させやすいなど、日常で行った行動が実験などで実証されていることを知り、興味深かった。意図的にひとを拒絶することはあまりなく、考え方や環境が無意識に影響していることが分かり、職場での人間関係を振り返るきっかけができた。
- ・人間関係について、自分のなかでもややもやとしていたことが理論によって明らかになり、すっきりしました。人間は本来利己的であること、人間関係においては報酬とコストのバランスが重要であることに改めて気づくと同時に納得しました。

●心理療法(東京会場)

- ・それぞれの療法について理解が深まりました。特にブリーフセラピーや認知行動療法のCBTモデルについては考えさせられました。解決方向・方法は身近なものにも使えたと感じたので、これから実践していきたいと思えます。
- ・講義中、先生が「カウンセラーは、大自然のような、樹齡何千年という樹のような存在、いるだけで癒されるような存在になりたい」と話されていたことが印象に残っています。

9月卒業者アンケートより

通信教育部を今年9月に卒業された方にご協力いただいたアンケートの中から、紙数が許す範囲でコメントをピックアップしてみました（103号 p. 68にもあります。次号以降でも掲載します）。

皆様の学習のご参考になれば、幸いです。

問1. 通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役立っていますか。

- ・対象者に対しての見方が変わった。個々の特性や意思、感情を大切にしたいと思えるようになった。また、対象者の言動に対しての視点が変わった。言い換えれば、自分の価値観が変わった。「～してほしい」「～すべき」という自分の価値観や意思、感情について吟味し、相手に求めることが少なくなった。
- ・人と関わるとき、なぜそのような言動や態度をとるのか、表出された言動の奥にどのような感情や背景があるのか等、洞察していこうとする姿勢が身についてきているように感じる。
- ・様々な事例、現象等を学ぶことにより、実社会で生じる問題に対して、客観的なものの見方ができるようになった。
- ・高齢者のことだけでなく、福祉を全般的に学ぶことができた。
- ・新聞、テレビなどの情報で福祉に関することに目を留めることが多くなり、何でそうなのかまで深く考えることができるようになった。
- ・物事を色々な観点からみることを学ぶことができた。日々暮らしていく中で、この見方をすることによって、マイナスの解釈ばかりでなく、プラスの解釈もできるようになり、役立っている。
- ・社会福祉が生活に困難をもつ人だけでなく、私たちが生活していくうえで必要不可欠なものであり、一人ひとりがそれを自覚していかなければならないものであると感じた。

問2. 通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのようにいかしてみたいか。

- ・地域の精神障害者への就労支援をおこなっていきたい。
- ・障害者福祉の領域で働き、活かすことができればと考えている。
- ・成年後見人活動へ活かしたい。
- ・実生活におけるコミュニケーションの取り方に応用し、心豊かな生活ができればと考えている。
- ・生涯学習としてテキストを読み返し、日々の生活に役立てたい。
- ・原発事故により避難生活を行っているが、仮住まいを抜け出し、新居を構える際に転職を考えている。避難している人たちや障がいを抱えた子供たちの

ケアなどに役立てていけたらと考えている。

問3. 学習していて苦労したことはありましたか。辛かったことをどのように克服しましたか。

- ・過去の自分の辛い体験や自分自身と向き合わなければならなかったこと。実習の演習等でのグループワークでの自己覚知や助言等を得て克服できた。
- ・覚悟していたものの、仕事・育児・家事と忙しく、時間がなかなかとれなかった。しかし、毎日少しずつでも勉強する方が効率が良いと考えたので、やむを得ず睡眠時間を削った。対処法は各人それぞれだと思うので、自分で生活リズムに合う勉強方法を探さなければならないと思う。
- ・モチベーションがあがらず、レポートを進めることが難しかった。スクーリングで友達を作り、同じような境遇の方も頑張っていることが励みとなり、自分も頑張ることができた。
- ・仕事が多忙なうえ、家族が病気で倒れた時は、学習がしたくともできなかったことがとても辛かった。それでも学習の存在そのものが救いで、学習することが私を支えてくれた。
- ・入学して最初にやった科目のレポートが全然書けなかった。その科目のレポート作成を中断し、自分が理解しやすい科目から取り組むことにした。レポート作成になれたころに以前書けなかった科目のレポートをやったら書けるようになっていた。

問4. 学習をしていて楽しかった（面白かった）こと

- ・新しい発見や気づきを得られたこと。
- ・学んだことが仕事に生かせたとき。
- ・生活の中で不思議に感じていたことが理由づけされたとき。
- ・心理学概論のレポート課題である「心」について、知識を得たり、気づかされたり、大いに考えさせられ、楽しかった。
- ・一緒に頑張る仲間ができたこと。みんながそれぞれ自分の人生を目的に向かって歩いていて、とても刺激になった。
- ・友人たちとスクーリングで会い、食事をしながら年間スケジュールや自分たちの将来について話し合ったりして、とても楽しかった。おかげで10年かかる予定で入学したものの、4年で卒業できた。

問5. 「レポート学習」について在學生へのアドバイス

- ・毎日少しの時間でも良いので、必ずテキストに目を通すこと。一度嫌になって取り組まない日があるとその後引きずってしまうと思います。少しの時間でも毎日レポート課題に関係する箇所目を通すだけでもレポートの仕上がりが早いと思いますし、考えも深くなるように思います。

メッセージをお寄せいただいた方に厚く御礼申し上げます。